



明海大学 浦安キャンパス 同窓会報

第12号
2006.12
December

同窓生の団結で明海大をもり立てよう

同窓会創立15周年記念式典を開催

1988年4月、浦安に明海大学が設置され、4年後の1992年に初めての卒業生を輩出すると同時に同窓会が発足して15年が経過。節目の年を記念して、明海大学浦安キャンパス同窓会の創立15周年記念式典が、11月3日浦安キャンパスで開催された。これまでお世話になった先生方、大学職員、教育後援会の役員など大勢の来賓列席のもと、盛大な式典となった。

式典はまず、伊藤大典同窓会総務の開会の辞でスタートし、北原淳会長が「これまでご協力いただいたすべての皆さんにお礼を申し上げます」と感謝の言葉を述べ、当初は基礎固めに専念し、10年を過ぎた頃から独自の事業が展開できるようになり、ここ3年で東北、中越、東海、関西で地域支部が、また不動産学部支部

に加え、今年、英米語学科、中国語学科に支部ができたことを報告。「私たちの人生に刻まれた明海大学卒業というキーワードは永遠に消えないし、共に学んだ仲間とは深い絆で結ばれている。同窓生が団結することで大きな力が発揮され、明海大学の発展に寄与できるはず。15周年を機にこのことを多くの仲間伝えていきたい」と挨拶した。

続いて、大学側から宮田佑理事長が「皆さんにお会いして、非常に頼もしく思いました。運命共同体の同窓会と母校が連携を深めて次なるマイルストーンを目指しましょう」と、そして高倉翔学長が大学の認証評価についてふれ、「卒業生がどう母校を評価するか、また卒業生が社会からどう評価されるかが、大学の評価の大きな要素になる。さらなる飛躍への自覚のもと、共に前進を誓い合います」と祝辞を述べた。

その後、初代会長を務めた金子裕介さんと、北原会長がトーク形式で、同窓会の15年の歩みを振り返り、「これから20周年、30周年と続けていかなければいけない。変わらぬご協力をお願いします」と金子前会長が結んだ。

最後に同窓会から、記念品として植樹一式が贈呈された。学歌の歌詞の一節「みどりの潮風」にちなんだもので、「緑豊かな環境に生まれ、ますますすばらしい明海大学になってほしい」との思いを込めた」と北原会長。



明海大学浦安キャンパス同窓会
創立15周年記念式典

会長あいさつ

同窓会会長 北原 淳



明海大学 浦安キャンパス同窓会
は、今年で15周年を迎えます。

した。これまでご協力いただきまして、すべての皆様に深く感謝申し上げます。

その記念すべき年に、英米語学科支部（明英）と中国語学科支部が新たに設立されました。両支部ともそれぞれの特性を活かした素晴らしい支部となっていくことでしょう。また、不動産学部支部（緑風会）は設立10周年を迎えております。

このように同じ学び舎から果立った同窓生が団結することは、大きく強い力が生れます。なぜなら、「明海大学卒業」という事実が私たちの人生に永遠に刻まれ、建学の精神が宿った同窓生には「明海大学卒業」というとても深く、固い絆で結ばれているからです。同窓生の団結から生れる力を明海大学発展のため、そして、自らの人生を有意義に過ごすために活かしていきましょう。

これからも皆様のために最大の努力する所存にございますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

記念パーティー

同窓会のますますの発展を 誓って盛大に開催



明海大学浦安キャンパス同窓会創立15周年記念パーティーが、記念式典に続いてレストランニューマリンスで開催された。会場には各学部の卒業生約300人のほか、来賓の先生方、大学職員、教育後援会の役員など大勢が集まり、盛大なパーティーとなった。



北原会長

まずは、北原淳会長が「恒例の同窓会パーティーですが、今年は15周年の記念も兼ねて盛大に行います。旧友と交流を深め、懐かしい先生方ともたくさん話をしてください」とあいさつ。来賓を代表して宮田佑理事長が、「同窓会15周年おめでとう。皆さんの活躍をお祈りします」と祝辞を述べ、続いて高倉翔学長は学歌の中から「何かひとつ人類のために私たちにできるなにかを」という一節を引いて、「この詩を胸に刻み、お互いに社会に貢献できる人間であり続けましょう」と、同窓生に熱いエールを送られた。そして、勝沼産の同窓会オリジナルワインをグラスに満たし、金子裕介前会長の乾杯の発声で祝宴がスタートした。

出席者約300人とあって、会場は立錐の余地もないほど。それでも、おいしい料理を食べながら同級生やサークル仲間、懐かしい先生を囲んでいくつもの輪ができ、和気あいあいとした談笑が続いていた。また、子ども連れで参加する同窓生が増え、15年の重みを感じさせた。

今回は節目となるパーティーとあって、企画も盛りだくさん。まずは、本学の1期生でこのほど歌手デビューした東里香さんがかけつけ、歌を披露。高倉学長と学歌をデュエットしてパーティーを盛り上げた。



出会えました!



・経済学部、下田直樹先生のゼミでした先生が学部長になっていたの、びっくりです



・英米語学科(3期生)の同級生パーティーには毎年来ています。こういう時しかみんなに会えませんから



・テニスサークルSWISHの仲間こうやってみんなと会うと学生に戻りたくなります



・不動産学部の同級生久しぶりに学校に来て、仲間と会って、学生時代に戻ったようです



・東里香さん知っている人たちの前で歌えてうれしかったです。とてもリラックスして歌えました



・英米語学科(5期生)の同級生初めてパーティーに参加しました、人が多くてびっくり学校の建物が増えていました。ますます充実しましたね

15周年

▶宮田理事長



▲高倉学長

▼学歌をデュエットする高倉学長と東里香さん



▶金子前会長



また、ちよいい悪オヤジとしてテレビなどで大活躍のパンツエッタ・ジローラモさん（4期生）がビデオレターを寄せ、在学中の思い出などを語った。

さらに、ゼミ・部・サークルなどのグループで、一番人数の多かった団体に特大のケーキがプレゼントされたり、15万円相当の旅行ギフト券など豪華賞品が当たる抽選会が行われ、大いに盛り上がった。

高倉学長は「非常勤講師の時代も含めて大学開設から、本学の学生と共に歩んできました。今日は懐かしい顔に出会え、たくさん話ができてうれしい」、宮田理事長は「すでに2万4千人の卒業生を社会に送り出しました。みなさんの活躍を目にして、教育者として満足です」と話していた。

また、金子前会長は「予想以上にたくさん同窓生が集まり、パーティーを企画したものとしましてはとてもうれしい。また、来年も会いましょう」と感想を話していた。

懐かしい顔にも



・中国語学科（5期生）の同級生
初めてパーティーに参加して、知っている顔に出会ってほっとしました。もっとこういう機会が増えるといいですね



・軽音楽部の先輩後輩
毎年、学園祭に顔を出して、同窓会パーティーに出席しています
仲間たちとは結構会ったり話したりしています



・テニスサークル エスプラネードの仲間
毎年、みんなに会うのを楽しみにしています。年々、家族が増えて、にぎやかになっています



・ワンダーフォーゲル部の仲間
在学中のサマーキャンプで高倉学長と写真をとっていただいたので、今日もぜひにと考えていました

第19回明海祭「乱舞」

明海生らしい元気いっぱい学園祭に



11月3日から5日までの3日間、第19回明海祭が開催された。学生だけでなく、地域の方たちにより多く参加してもらおうと、開催前から学園祭実行委員の学生がチラシを配ったり、駅前でティッシュを配るなどPRに奔走。当日はお天気にも恵まれ大勢の人出で賑わった。

今年の明海祭のテーマは「乱舞」。学園祭実行委員会委員長の大滝知里さんは、「明海生らしい元気あふれる、学園祭に来た人や関わった人すべてに舞うほど楽しんでほしいという願いを込めました」と話していた。

同窓会15周年記念 オリジナルワイン 製作プロジェクトの概要 担当理事 本間 勝



この度、浦安キャンパス同窓会の15周年を記念し、本会オリジナルワイン製作に着手しています。同窓会が確保した山梨県甲州市勝沼の厳選されたぶどう畑から、記念の年である2006年に収穫された国産甲州種ぶどうを勝沼の岩崎醸造株式会社にご協力いただき醸造しています。来年の春にボトリングを行い、オリジナルワインラベルを貼り、完成した500本を勝沼にあるトンネルワインカーヴに貯蔵する予定です。このトンネルワインカーヴは、旧国鉄が中央本線で使用していたレンガ造りのトンネルで、ワインの保存温度・湿度に適した空間であることから、2005年にワインカーヴとして生まれ変わりました。

ワインの醸造方法の選定は、同窓会役員が行い、認証ワインと同様の大変厳しい審査をクリアしたハイレベルの日本ワインの醸造法を選定しました。

同様の醸造方法のワインは、15周年記念パーティーで試飲していただきました。20周年記念パーティーにおいて開封したいと考えております。

5年後には、皆様にぜひパーティーで味わっていただきたいと思っております。



学祭は毎年恒例のJR京葉線新浦安駅から本学までのにぎやかなパレードで開幕。学内はたこ焼き、焼きそばを売る模擬店などで大賑わい。芝生の丘ではフリーマーケットが行われ来場した方からも好評だった。また、今年には作家・志茂田景樹氏の講演会やプロレスラー佐々木健介氏と妻の北斗晶さんのトークショー、人気歌手hitomiさんのコンサートも行われた。

2006年度 明海大学浦安キャンパス 同窓会事業計画

I 同窓会主体事業

- ①同窓会報の発行
- ②同窓会DBの準備
- ③就職支援セミナーの開催
- ④各地区連絡会の開催
- ⑤同窓会HPの充実
- ⑥同窓会支部設立支援
- ⑦同窓会創立15周年事業
- ⑧卒業記念アルバム贈呈
- ⑨慶弔に関すること
- ⑩その他

II 協力・援助事業

- ①フレッシュマン研修会への援助
- ②学友会サマーキャンプへの協力・援助
- ③スノーキャンプへの協力・援助
- ④大学ボランティア活動への援助
- ⑤卒業パーティーへの協力・援助
- ⑥その他

2006年度

同窓会代議員会開催

5月28日、浦安キャンパスにて2006年度代議員会が開催された。会議には同窓会代議員、高倉学長、朝日副学長の他、大学教職員も出席。武藤総務が議長を務めた。

初めに事務部の伊藤学事課長から学年暦、今年春の入学試験の結果など大学の近況について報告があった後、審議事項に移り、2005年度事業報告・決算報告が行われた。次いで、2006年度代議員案が提出され、全会一致で可決。新たに6名が新代議員として承認された。また、中国語学科支部、英米語学科支部「明英」の設立準備について報告と審議が行われた。



2005年度明海大学浦安キャンパス同窓会決算書

セキュリティの関係上、インターネットには公開いたしません。
同窓会会員でご覧になりたい方は直接事務局までお問い合わせ下さい。

2006年度明海大学浦安キャンパス同窓会予算書

セキュリティの関係上、インターネットには公開いたしません。
同窓会会員でご覧になりたい方は直接事務局までお問い合わせ下さい。

明英の着実な歩みを

英米語学科支部「明英」 志村 典英

2006年8月5日(土)午後6時よりホテル・エミオン・東京ベイ22階ルーチェにて英米語学科同窓会「明英」の設立パーティーを開催しました。多くの方々にご協力をいただき、2年の準備期間を経て無事に明英を立ち上げ、大きな第一歩を踏み出すことができました。設立パーティーの参加者は70名を上回り明英設立の祝福と、何よりも懐かしい級友やお世話になった恩師との楽しいひと時を過ごすことができました。

11月3日(金)午前10時より英米語学科卒業生で現在英語教育に携わり活躍している方を対象に、文化祭で活気に満ち溢れていた浦安キャンパス2205教室にて、明英英語教育セミナーを開催しました。今回は「効果的な授業作りのために実践例を踏まえて」というテーマで、投野由紀夫教授の実践的な講演や卒業生の水野武法さん、大橋彰彦さんによる実践報告をもとに討論会を行いました。20名を超す参加者からは大変好評をいただき、とても意義のあるセミナーになりました。

クリスマスには英語のメッセージとともに英米語学科卒業生の皆さまへクリスマスカードをお届けしました。

来年度はこれまでの活動を定番化するようにより充実させ、さらには近況がどうなるか分かるようなニュースレターの配信を予定しています。歩み始めたばかりの明英ですが、今後とも皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

緑風会の事業報告

不動産学科支部「緑風会」 本間 勝

不動産学部卒業生で構成する支部・緑風会は、お陰様で今年10周年を迎えました。去る2006年6月10日に、10周年記念パーティーを新浦安オリエンタルホテルにおいて開催しました。不動産学部 長谷川 徳之輔先生の記念講演をいただき、盛況のうちに終わりました。

緑風会は、部会である不動産緑風会の支援、卒業生の国家資格取得支援、不動産学部宅建サークルへの支援、卒業生講師の派遣など、卒業生のネットワーク、不動産業のネットワーク、在学生就職・資格取得支援、を継続し、日本において認知されていない不動産学や不動産業の発展と共に、明海大学不動産学部の社会的地位の向上を図るべく、日々活動しています。

役員は、土曜日などを活用しボランティアで活動しています。この活動を通じて得た人脈やノウハウは非常に多大なものです。また、役員同士の交流も活発です。

日本人はボランティアを日常生活に取り入れることについて、あまり慣れていないと思います。自身や母校のため、力を貸したいと考えている方々のご協力を今後ともよろしくお願い致します。

明海卒生、この指とまれ

～地区連絡会レポート～

東北地区連絡会 福島

2006年11月11日午後6時より福島駅前の「福島ビューホテル」にて東北・福島地区連絡会が開催されました。念願の東北・福島地区で初めての開催でもあり、力が入りました。

あいにくの天候のなか、大学の近況報告と先般の同窓会15周年式典や同窓会パーティーの報告の後、きれいな奥様、かわいいお子さんと一緒に参加いただいた内田氏(1期中国)と9時過ぎまで大いに語り合い、次回の連絡会もぜひにと有意義に閉会いたしました。

(地区連絡会担当 武藤 俊一)



北陸地区連絡会 新潟

今回は第4回北陸(新潟)地区連絡会の様子をご紹介します。2006年11月25日夕刻、新潟市の「ホテルイタリア軒」佐渡の間に明海同窓生が集いました。世話役であり共に2期生の佐藤純・有紀子ご夫妻とお子様3名、同じく2期生の加納道子(旧姓桑野)さんとお子様1名、8期生の本井克典さん、9期生の長谷川将明さん、11期生の高佐佳人さん、13期生の栗山義徳さんの方々です。

会の初めは多少の緊張はありました。しかし、そこは同窓生仲間、すぐうちとけてイタリア料理を囲みながら終始和やかな雰囲気です。先輩が学生時代の思い出やその頃の大学周辺の様子を語ると、後輩が私のとときはかなり様子が違っていると反応、お互いに街の様子や大学の発展ぶりに驚いて会話が弾みました。一方、お世話になった恩師の様子を気遣うなど、卒業後の年月を感じるひとときでもありました。

会の最後に、みんなで記念撮影。今日初めて会った人もいたのに、そんなことを感じさせない瞬間でした。別れ際に、「来年もまた来ようね。今度はどこにする?温泉も良いね」などと声をかけあっては次回の開催にも余念がありませんでした。一人ひとりが意識するかどうかは別にしても、私たち同窓生は、「明海大学」という強い絆で結ばれていることを強く感じたい一日でした。(地区連絡会担当 塩谷 正)



設立記念パーティを開催

中国語学科支部 川島 信一

12月2日(土)浦安ブライトンホテルにて中国語学科支部の設立記念パーティーを行いました。卒業生が最も少ない学科でありませんが、参加者は50名を超える友人同士、恩師との再会を楽しめただけでなく、中国ビジネス関係者にとっても有意義な情報交換ができたパーティーとなりました。

また当日は来年度以降のサービス充実に向けたアンケートを携帯サイトで行い、回答者には、懐かしい明海ボールペンと

シャープペンのセットがプレゼントされました。アンケートは通年を通して行われます。パーティーに参加できなかった方もホームページからぜひご回答ください。もちろん回答後に明海グッズをお礼としてご送付させていただきます。今回のパーティーは設立パーティーであり、始まりに過ぎません。多くの卒業生に参加いただいたことに満足せず、大きな期待を集めていると肝に銘じサービス提供に努めていきたいと思っております。来年は中国語圏で活躍する卒業生も参加できるように、国慶節にあたる時期に開催できればと思います。

同窓生 からのたより

今回、この「同窓生からのたより」を書いてほしいとの依頼を、私の学生時代の同期で同窓会理事の熊沢基之くんからいただき、何について書けばよいかと考えた結果、個人的な内容で大変恐縮ですが、私自身が明海大学に入学した経緯と、在学中および卒業後の報告を簡単にさせていただきます。

私は現在、明海大学体育会サッカー部のコーチとして日々指導にあたっております。2002年に英米語学科を卒業。サッカー部のOBではありますが、実は1998年に入学してからの1年間は明海大学のサッカー部には所属していませんでした。当時、私はJリーグの「ジェフユナイテッド市原」(現千葉)にプロのサッカー選手として所属しており、サッカーで生計を立てている生活をしていました。その私がなぜ明海大学に入学したかという点、当時の監督がオランダ人であったため、より深くコミュニケーションを図るためには英語の習得が必要だと感じていたことと、当時のジェフの練習場や選手寮が浦安市内であったため、練習後そのまま自転車で通えることから、

明海大学への入学を決めました。入学したからには何年かかっても絶対に卒業したいと考えていました。しかし、入学後の「二足のわらじ生活」はそう簡単にはうまくいきませんでした。私は学生でもありませんでしたが、生活の基準はあくまでもプロのサッカー選手であったため、チームのスケジュールが全て優先になります。

そのために、練習や試合で授業に遅れることや、出席できないこともしばしば。曜日によっては全く授業に出席できない日もありました。1年生時、前期の定期試験に受験資格をもらうことができた授業は、先生のご好意により受けさせてもらうことができた2つの必修授業だけでした。しかし、2つの授業のおかげで必修科目の3単位がもらえ、この3単位が後の自分の卒業に対して非常に大きな意味を持つことにこの頃はまだ気付いていませんでした(英米語学科の千田先生、日野先生にはご理解をいただき大変感謝

とに決めました。しかし、中学時代から続いたクラブチーム育ちの自分には、大学特有(?)の「部活動生活」に慣れるのに少し時間がかかりました。入部する前にはある程度の覚悟は決めていたものの、今までの自分が当たり前のように送ってきたサッカーに全てをかける生活や、毎日が紧迫感のある練習とはあまりにもかけ離れた世界がそこにはあったからです。ここで諦めてはいけなさと、何とか改善できるような日々、いろいろな先輩方や同期と相談しながら、人生初の「部活動

Jリーグから大学サッカーへ 人生初の「部活動生活」に

奮闘した学生時代

八津川 義廣 (2002年・英米語学科卒業)

しております。

プロ生活の2年目に、当時のチーム事情や、度重なる怪我もあり、中学生時代から8年間所属したチームを去ることが決まりました。チームを去ることが決まる数ヵ月前にも、足を骨折してしまい、チームを離れる時にはまだ松葉杖をついているような状態で移籍先のチームを探すこともできませんでした。いろいろと悩んだ結果、せっかく入学した明海大学を卒業したいと考えていたこともあり、そのまま大学に残り、2年生時から明海大学のサッカー部に入部させてもらうこ

生活」を精一杯送っていました。時には、よかれと思ってしていたことが、「新入りのくせに生意気な」とチームメイトから思われることもありました。しかし、理解あるキャプテンや先輩方のチームメイトのおかげで少しずつチームの雰囲気が変わっていき、その年に明海大学サッカー部創設以来初の「千葉県大学サッカーリーグ1部優勝」と「関東大学サッカーリーグ2部入替戦」に進出することができました。入替戦では残念ながら法政大学に1-1の引き分けで、昇格することはできませんでしたが、チ

ム全員でそこまでいくことができた喜びは今でも心に残っています。3年生と4年生時はリーグ優勝まであと一歩というところで負けてしまい、2年連続で2位という結果に終わってしまいました。

明海大学サッカー部コーチ就任から今年で3年目になりますが、サッカー部創設以来の悲願である関東大学サッカーリーグ昇格はまだ果たせておりません。来年こそは昇格できるよう、チーム一丸となって戦っていきます。私が指導してきた学生たちも自分たちのやってきたことに自信を持ち、明海大学を誇りに思っ

てほしいものです。明海大学のユニフォームになっ



2006年11月3日(祝) 明海大VS中央学院大 関東大会出場決定戦を終えて

2006年度サマーキャンプ開催

「実現させる明海大学」へ

8月21日から23日までの3日間、明海大学浦安キャンパス学友会のサマーキャンプが群馬県の上水町で行われた。このサマーキャンプは、明海大学で学んでいる日本人学生、外国人留学生、教職員などが「実現させる明海大学」というメインテーマで意見交換を行い、それをもとに大学をどのように発展させていくかを考えることを目的として開催している。

今年も学生・教職員・教育後援会役員など178人が集まり、同窓会からは川口理事が参加した。

初めに、サマーキャンプを主催する鶴田俊明学友会会長が挨拶。「サマーキャンプも今年で9年目。皆さんそれぞれの

参加理由があると思いますが、未来の明海大学をより良いものにするため忌憚のない意見を交換しあい、有意義なサマーキャンプにしましょう」と述べた。

その後学友会の各委員会からのプレゼンテーションが行われ、各委員会の代表者が日頃の活動内容や、大学に対する要望などを述べた。

全体会の後、サマーキャンプのメインテーマ「実現させる明海大学」のもと、4つの課題について分科会が行われた。今年には「①施設について、現在ある施設の改善案・新施設建設案」、「②課外活動の在り方と今後について」、「③留学生と日本人学生と教職員の交流」、「④学

内外におけるマナー向上について」の4つのテーマについて18班に分かれて意見交換が行われた。この分科会では、各参加者に付箋を配り、それぞれが思う学内の問題をその付箋に書いて模造紙に貼り、同じような問題を分類しながら話し合う、「ブレインストーミング」という方法がとられており、各テーマごとに学生、教職員がそれぞれの立場で意見を述べ合った。

Information

●大学住所が変更になりました

平成18年9月19日より住所表示変更により明海大学浦安キャンパスの住所は左記の通りとなりました。

新住所 〒279-8550

千葉県浦安市明海1丁目

赤字部分のみ変更ですが、以後同窓会宛郵便物はこの住所でお願いします。

●事務局からのお知らせ

毎年、同窓会では東北（盛岡・福島）・北陸（新潟）・近畿（大阪）・東海（静岡）・関東（大学）で地区連絡会（同窓会）を開催しております。しかし、残念なことに案内状を送付してもお引越等でご宛先不明で戻ってしまうケースが多々あります。お心当たりの方は同窓会事務局へご連絡ください。同窓会のHPからでも変更可能です。

URL <http://www.meikai.com>

メールアドレス dosokai3@meikai.ac
(携帯からも可)

同窓会ホームページより

皆さんご存知でしょうか？ 同窓会のホームページでは、大学の近況や卒業生インタビューなどの情報が毎月アップデートされています。さらに、HPから住所や改姓の届けも行えるようになり、各種変更届けが簡単にできるようになりました。

お友達で「会報が届かない」という方がいらっしゃったら、こちらから住所変更などを行うように教えてあげてください。また、このシステムは最近オープンした携帯電話用のホームページ（アドレスはパソコンと同じ<http://www.meikai.com/>）から利用することができます。QRコード対応のカメラ付き携帯電話の方は、下記QRコードを携帯電話のカメラで読み取ることでそのままアクセスすることが可能ですので、どんどんアクセスしてください！



コンテンツ概要

1. ニュース 同窓会地区会、パーティーのお知らせ。ここをチェックしてお得なイベントにどんどん参加を！
2. イベント 同窓会地区会やパーティーなどのレポートなどが掲載されていますので、参加出来なかった方も掲載されている写真から友人を探すことも出来るかも。
3. 大学情報 最新の大学情報や最近の浦安近辺の情報を見ることができます。
4. 会員紹介 同窓生へのインタビューを掲載。今後は毎月更新されます。インタビューへご協力いただける方もここで募集しています。近況をお友達や先生方にお知らせするにはもってこいの場です。最近ではここからOB/OG訪問の情報を探す学生さんも多いようです。



編集後記

今年には南学部同窓会創立30周年、浦安キャンパス同窓会創立15周年、そして緑風会（不動産学部支部）設立10周年、明英（英米語学科支部）・中国語学科支部の設立と明海大学に関わる全ての人にとって節目もしくはスタートとなった1年ではないでしょうか。

さて話は変わりますが、今年の会報で変わった点にお気づきでしょうか。…そうです。オールカラーでの発行となりましたことをご報告いたします。浦安キャンパス同窓会の創立15周年を期に同窓会会報もデザインを一新し、気持ちも新たにスタートが切れればと思っております。そしてなにより、この会報がより多くの同窓生の皆様の元へ届いてほしい。また年1回の会報ではありますが、楽しみに待っていてくれる同窓生に母校である大学を身近に感じてほしい。この二つの願いを込めております。

熱く、爽やかな同窓生のたよりを寄せてくれた八津川くんありがとう！ 彼には現役時代から大変刺激を受けました。強いプロ意識とリーダーシップを兼ね備え、まさしくサッカーに全てをかけていたことを思い出しました。たよりを讀んだ理事も「肌が明海カラーになっていきまして感動しました」とコメントを寄せてくれました。大学全入時代が始まり、同窓生皆様のご活躍が今後の明海大学の評価へと繋がる重要な要素の一つとなっております。浦安キャンパス同窓会では、皆様の近況報告なども随時受け付けておりますのでお気軽にご連絡ください。

編集長 熊沢 基之